

2023 年春学期/アリゾナ州立大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

リスニングスピーキングのクラスではプレゼンテーションやテッドトークを聞いて質問に答えたり、グループディスカッションをしました。リーディング・ライティングの授業ではテストに向けて、エッセイの書き方を学んだり、リーディングをして問題を解いたりしました。

授業は原則対面で行い、教科書に沿って行われます。また、数回おきに小テストが行われ成績に大きく関わります。

自分に学力に見合ったクラスに振り分けられるので大きく苦戦するようなところはなかった。月曜から金曜まであり一日のコマ数は最大 3 コマ。授業形態は生徒主体で進めていくことが多かった。

先生によるが、ペアワークも比較的多かった。そのため授業内でクラスメイトと話す機会も多かった。

授業の携帯や進め方は授業や教員によって違って、スピーキング、リスニングがメインの授業では、トピックについての自身の意見の発表やプレゼンテーションなど他国の生徒の前で英語を喋ることが求められました。ライティング、リーディングの授業では基本的には教材に基づいて文法、長文解読やエッセイの作り方などをクイズ方式で学ぶ事が多かった。

全体的な授業の内容は基礎的なものが多かったように感じましたが、復習という形でとても役に立ったと思います。エッセイを書くことが多かったのでライティング力も伸びました。また、どの授業もグループワークの時間があつたのでクラスメイトと話す機会がたくさんありました。

先生によって違う。生徒とたわいのない話をする人もいたし、授業の説明以外しない人もいた。

reading の授業では教科書の内容を重点的に進めており、基本的にずっと先生が喋っている状況でした。また授業内で教科書の問題を解き自発的に答えを答える形態であり、それに比べて listening の授業では教科書以外での学習が多くありました。また問題を解いた際には先生が指名して答える形態でした。

Reading and Writing のクラスではテキストの中からかいつまんで授業を進めました。その中でエッセイの書き方を勉強しアウトラインから引用まで学習しました。Listening and Speaking では Ted talk を用いたリスニングを鍛える授業があり、また、授業の 10~20 分でグループを作り様々なトピックについて議論するスピーキングがありました。SDGsクラスでは世界の様々な問題に目を向け関西外大生とSDGsについて研究します。ビジネスクラスでは、アメリカの企業の形態についてや基本的なビジネス用語を学びました。また、グループで一つの架空の起業を作り発表するワークがありました。

教授たちがはじめに生徒に課題を提示し、その後は生徒主体で自分の回答を探っていくものでした。

主にリーディング・ライティングとリスニング・スピーキングという2クラスをメインで授業をした。教授は毎日やるべきことを決めて、進む感じだった。

教科書や先生が作ったドキュメントに沿って授業が進められた。個人よりもペアやグループ活動のほうが多かった。質問に対して自分の意見をクラスメイトに共有する感じだった。2~3週間に一度テストがあった。

先生やクラスによってそれぞれだが、全体的にペアワークやグループディスカッションが多かった。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

大体 15 人ぐらいのクラスで、私のクラスに日本人は 3 人いました。留学生は日本、韓国、台湾、中国、サウジアラビア、クウェート、コンゴ、カンボジア、ベトナムなど様々でした。

クラス人数は約 10~20 人程度で構成されており、日本人は基本的な外大生で、日本人 1、2 割、外国人 8、9 割ほどの比率です。また韓国人や中国人もクラスにいますが、サウジアラビア人やクウェート人がとても多いです。

クラス全員で 15~20 人程度。3:7 くらい。サウジアラビア、クウェート、中国、韓国など。

1 クラス 15 人ほどだった。比率はクラスによるが、私のクラスは比較的日本人が多く、日本人 5 人、アラビア(サウジアラビア、クウェート)5.6 人、その他韓国、中国だった。

<p>クラスはレベル分けがされていてそれぞれ約20人くらいの生徒で、アジア出身が多く、日本、中国、サウジアラビア、カタールが大半をしめていました。</p>
<p>クラスは20人くらいで、日本人と留学生の比率は2:8でした。サウジアラビアやクウェート、中国、韓国、トルコ、ドバイ</p>
<p>クラスには15人ほどいた。日本人は、外大生以外にも1人いた。他には、韓国人、台湾人、中国人が少し、サウジアラビア人が6割いた。</p>
<p>クラス人数は15~18人で日本人はクラスの1,2割ほどであり、サウジアラビア人やクウェートのアラビア人の割合が大きかったです。他にはペルー人や台湾人がいました。</p>
<p>日本人1割、中国人、台湾人1割、韓国人1割、クウェート、サウジアラビアなどのアラブ人が4割、そのほかにメキシコ人、キューバ人、コンゴ人、カンボジア人、ベトナム人などがいました。</p>
<p>一クラスあたり約20名の生徒で構成されており、アジア諸国とサウジアラビア出身の生徒が多かった印象です。</p>
<p>クラス人数は大体15人くらい、わたしのクラスは1学期や2学期どちらも日本人4人いった。留学生の出身国は中国、台湾、サウジアラビア、クウェート、キューバ、韓国。</p>
<p>春学期は、同じレベルでも二クラスに分けられていた。私のクラスは13人だった。夏学期は一クラスだけだったので18人と多めだった。日本人は私以外に二人。台湾人、クウェート人、中国人、韓国人、ブラジル人、イラン人、パナマ人、チリ人がいた。</p>
<p>大体15人くらい。11の時は、日本人が私一人だけだったが、12の時は私含めて5人もいたためあまりそこは配慮されていないように思う。アジア人も少なくなかったが、サウジアラビアがとて多かった。</p>

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

<p>日本とは違い、積極的に発言出来る雰囲気でした。また、個人ワークよりグループワークの方が多く感じました。</p>
<p>中東系の人たちは、基本授業時間に遅刻して来ます。また先生が授業を進めるために話をされているときや、クラスメイトが発表しているときに、私語が多いのであまり集中できないかもしれません。</p>
<p>クラス全員発言力があり、日本では先生主体で授業を進めるがアメリカでは生徒主体で授業が進んでいった。</p>
<p>みんなが発言できるような雰囲気</p>
<p>日本の授業と違って生徒みんなが発言しやすい雰囲気それぞれの意見を言い合って何が一番いい方法か、どのように解決するかなど、とりあえず意見を共有する事が求められた雰囲気でした。</p>
<p>授業中によく発言したり、手を上げて意見を言っている人が多かったです。またフレンドリーな人が多かったのでグループワークなどでよく話していました。</p>
<p>日本の授業のように、ただ先生の話聞くだけでなく、学生たちが自分たちの意見を言って授業が進む雰囲気であった。</p>
<p>日本の授業とは違って、自発的に手を挙げて問題の答えを答える人や分からないところはしっかり先生に質問をする人が多くいて、みんなが授業に協力的で賑やかな雰囲気でした。</p>
<p>留学生みんなが主体的で積極的に举手したりクラスを盛り上げていました。特にクラスの中に数人英語力がありムードメーカー的なクラスメイトがいたため楽しんで授業が受けられました。</p>
<p>誰がどこ出身なのかという話にはあまりならず、国籍関係なく和気藹々としていました。</p>
<p>基本的に生徒が積極的に質問をし、回答する。理解できないことがある場合は、その時点で解決するのがあたり前だった。</p>
<p>とても明るく楽しい雰囲気の中授業に取り組めた。日本では先生が一人で言ったことをひたすらノートにまとめる授業が多いのに対し留学先のクラスは常に生徒の声絶えなかった。グループワークが多かった。疑問に思ったことはみんなその都度先生に質問してクラスみんなと理解を深めている感じだった。日本の授業が比較的受動的(インプット中心)なのに対しこのクラスは能動的(アウトプット中心・アクティブラーニング)だと思った。</p>
<p>とにかくサウジが積極的で定期的に質問や発言をしてたびたび先生が困り果てていた。だがサウジのおかげでとてもクラスの雰囲気が良くなった。</p>

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

I2の時の speaking class の AI に関するトピック。日本語でさえ説明するのが難しいのに、英語で説明するのは余計に難しかった。また授業中に AI に関する audio を聴いて、メモ、要約して speaking test の準備をするのがとても難しく苦勞した。

第一印象はいつもあっているか？というトピックでプレゼンをした授業が印象に残っています。みんな合っていないと言う意見で興味深かったです。

授業で扱う内容は SDGs に関わるものや、人の体に関するものが多く、とても興味深く楽しいです。特に海洋汚染問題や自動車の排出ガスなどに関するトピックが印象に残っています。

SDGsの授業でやった CLEAN WATER AND SANITATION です。

食事のマナー、公共交通機関、脳の発達、AI、成功と失敗

what is a failure? で人生において失敗とはどのようなものか、また、その失敗がどのように成功に導くのかを自分の経験、または友達の経験談などこれからの人生について考えそれをどう活かして行くのかをしっかりと考えさせられたトピックなので印象に残っています。

自分の国の礼儀や文化をアメリカと比べたり、他の留学生の国のことを知るトピックが印象的でした。また、SDGs の授業では日本で学んだことよりもさらに深いところまで学ぶことができました。

「失敗には、成功のためのどのような役割があるか」「第一印象 Don't judge books by their covers.」

各国の紹介したい観光地についてそれぞれスライドを作って紹介し合ったことです。他の国にはやはり日本にはないすごい建物があって、また景色がすごく綺麗な場所がありたくさんの観光地があるのだなと感心しました。

ビジネスクラスで取り組んだ架空の起業を一から創り、マネジメント汁授業が刺激的でした。わたしはサウジアラビア人のクラスメイトと絵を描く筆や用具を販売する企業をアメリカの企業形態の中で作り、最終的にほかのクラスメイトに発表しました。

SDGs です。

失敗と成功についてのトピックであった。このトピックは身近のものであるため、話しやすかったし、昔に起きた失敗したことや成功したことを再び思い出せた。

自分の壁を乗り越えた経験について ・ビッグデータが及ぼす影響

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

予習復習、分からないところは先生に質問を心掛け、努力しました。

日本人は読み書きの能力には優れていますが、話す聞く能力が他の国の人たちと比べて乏しいので、授業の中で積極的にクラスメイトと話すことが重要です。また話すときに間違いを気にせず話しても伝わるのがほとんどなので問題ありません。

発言を多くしたり自分の意見をしっかりと伝えるようにしていた。

授業内に分からないことがあった場合、授業後個人的に先生に聞きに行くこと。積極的に自分の意見をクラスメイトに伝えること。

初めての授業を受け、自分の英語力が足りない事、また積極性が必要だと気付いた為、授業内でも他国の生徒たちと多くの会話を交わす事、わからない単語などがあればすぐに友達や先生に聞くなど積極的に取り組んだ事。

授業を受けるにあたって予習や復習、課題はしっかり取り組んでいました。授業中は先生が説明していることを聞いて理解する努力をしました。

ノートをとると、先生の話が聞き取りやすくなった。

授業中はとにかく先生が言っていることを聞き逃さないように集中して聞いていました少しでも内容を聞いていないとついていけなくなるので気を付けていました。またなるべく前の席の方に座るように心掛けていました。声が聞こえやすいし質問もしやすかったからです。

ひと学期に3回テストがあり、そのすべてに全力で取り組みました。テストの内容は授業をよく理解していれば問題なく解けるレベルなので、必然的に日々の授業にも集中するようになりました。また、挙手することを意識すれば、わからない部分を探す意識が変わり、より授業に集中するようになりました。

今日は自分のどこを伸ばそうかを常に考えていました。

はやく英語を耳に慣れるために、英語で会話したり、英語の字幕を付けてテレビを観ていたこと。

集中力があがるから前の席に座るように心掛けた。わからないところはクラスメイトや先生に聞いてその場で解決していた。

恥ずかしがらず、間違ってもいいから発言をすること。自分の意見を相手に伝えること。ページ数を聞き逃さないこと。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ホームステイ先はありましたか。	ホームステイ先はどこの人でしたか。
0人 (11人)	
2人 (2人)	日本人2人 アメリカ人/メキシコ人

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
バス(13人)	0~15分 (2人)	ホームステイ先 (10人)
	15~30分 (2人)	
	30~45分 (5人)	
	45~60分 (2人)	大学内のカフェテリア (3人)
	60~75分 (1人)	
	75~90分 (1人)	

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
デスク、ベッド、収納棚	ドライヤー、シャンプー、ボディソープ、衣服用アイロン
ドライヤー、シャンプー、ボディソープ、衣服用アイロン	歯磨き、衣類、傘、ドライヤー、日焼け止め、サングラス、ノート
椅子・机・ベット・壁掛けテレビ・ウォークインクローゼット	特になし
ベッド、ウォークインクローゼット、机、タンス、ハンガー、自分用のバスルーム(別室)	掃除用のバケツ
ベットや机、棚など生活に必要なもの。	シャンプーやトリートメント、ボディソープなど消耗品。
机やベッド、ソファ、クローゼット、ファン、ドライヤー、ヘアアイロンなど	服、下着、靴、化粧品、化粧水、ヘアアイロン、パソコンなど
ベッド、机、テレビが一つずつ。	大学のジムで筋トレを始めたので、仲間のホストファミリーにショッピングモールへ連れて行ってもらった際、そこでプロテインを買った。他は歯ブラシや歯磨き粉など。
ドライヤーやバスタオル、冷蔵庫、ティッシュ、机、ベット、ハンガーなどで	アメリカと日本では電圧が違うという話を聞いていたのであらかじめ海外対応のドライヤーを準備をしたり日本からお土産なども用意しました。他には単語帳などの教材も準備しました。
勉強机、ベッド、自分用のタンス、簡易的のものが置けるスペース、ハンガー掛け	ドライヤー、歯ブラシ等の日用品
机、ベッド、クローゼット	スキンケア用品など、自分のこだわりがあるもの。
スリッパ、勉強机、ノート、タンス、ハンガー、シングルベット、タオルが用意されていた。	シャンプー、トリートメント、ボディシャンプー、歯ブラシ、等々
Wifi、ドライヤー、クローゼット、タンス、ドレッサー、ダブルベッド、勉強机、延長コード	風呂用品、ヘアアイロン、水筒

ベッド、勉強机、ドレッサー、ドライヤー、ハンガー、タオル、棚

日本食、衛生用品、スキンケア、シャンプー、リンス、ヘアケア。

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

お風呂に毎日入らない習慣や、水を大切にするため洗濯を1週間に1回することに驚きました。

ホームステイ先には基本的にエアコンがありません、その代わりに部屋にファンがついています。

湯舟がない、シャワーは10分程度、洗濯は週1回、土足など。特に驚くことはなかった。想像していた通りのライフスタイルだった。

食生活や生活リズム

私のホームステイ先は、ホストマザーと私の2人だった為、かなり開放的で自由な生活で日本でいる時の生活とあまり変わる事はありませんでしたが、自分の事は全て自分でする事、自己責任感が強かった。

洗濯機を使えるのが1週間に1回だけなこと、洗濯機が荒いこと、シャワーは10分だけなこと、朝食は自分で作らなければいけなかったこと、課題があつても食後に映画を見たりゲームをすることが強制的だったこと、家庭の問題で警察が来たこと

アメリカ人はとにかく会話が好き。他人と一緒にいる時は話していないと気が済まないようであった。相手が何を考えているのかがわからないと心が落ち着かないようにも思えた。

日本の家に比べて虫が家の中で飛んでいることが多かった気がします。またホストファミリーはみんな寝るのが早く、起きるのがとても早いと感じました。

シャワーの仕組みが日本と全く違います(おそらくどの家でも)。ホストファミリーは学校のことなどを聞いてきてくれてさみしさを感ぜないようにしてくれますが、他人である以上孤独感を感じる場面がありました(特に最初のころ)

水が違うので髪と肌に大きなダメージがかかった。

アメリカは日本と違って、家の中は基本的に靴を履いたままである。そのため自分が歩きやすいスリッパ等が必要になる。また、アメリカ人は朝にシャワーするのが好きだ。食事面では、簡単に作れる料理が好んでいる気がした。

夕食はみんなで食べるのが鉄則。(もし、大学の友達と食べるなら事前に連絡)。節水のため洗濯は一週間に一・二回程度。

ホームステイ先によって違うが、私のところはランドリーが週一回だったこと。向こうの人は食に興味がないこと。

ホームステイ生活を快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

日本での当たり前を当たり前だと思わず、分からないことがあればすぐホストファミリーに直接質問したり、自分の文化を伝えたりすることで、お互いの理解やコミュニケーションに繋がり、ホームステイ生活を快適に過ごすことができると思います。

私のホストファザーの仕事はセキュリティの仕事をしていて夜勤が多く生活リズムが違っていたため、時間が合う時に積極的にコミュニケーションを取るようになっていました。また、出てくる食事が多すぎる時があり、できるだけ残さないようには食べていたのですが、それでも食べきれない時は残して次の日の食事にしていました。アメリカでは食事を残すことに抵抗がないそうです。

ホームステイの場合は家族にその家のルールを聞いて守る事。自分がしたいことはしっかり伝えること。

ホームステイの場合、ファミリーに対して遠慮しすぎないこと。困ったことがあったらすぐにファミリーに知らせること。その日の出来事を共有すること。

ホストマザーやファミリーとの会話は連絡は絶対に欠かせない事。人それぞれだと思いますが、留学席でできた友達と遊ぶ事が多くなったりすると不安にさせ、それが信頼関係のトラブルに発展せざるを得ないのでこまめに連絡をする事が大切です。

友達の家ホームステイ先の家族をたくさん見ましたがその家庭によって特徴や問題が違うことが当たり前なので、自分のホームステイ先の家族を受け入れてコミュニケーションをたくさんとることが大事です。

とにかく人と話したり、仲間を招いたりする。

分からないことは最初に聞いておくべきだと思います。その家のルールが必ずあるのでその確認は欠かせないです。また自分の家だと思って過ごすこと大事だと思います。

挨拶は大切です。ホストファミリーは留学生とコミュニケーションをとりたがっています。思ったこと、感じたことを伝えることで距離感が近くなり仲良くなれます。わからないことがあれば迷わず質問しましょう。わからないままにすると家の中でもやもやして学校の疲れが取れません。

他人の家に住まわせてもらっている意識を忘れない。
できるだけホストファミリーとコミュニケーションをとること。例え、英語がうまく話せなくても頑張ってとる。仲良くすることが一番大切である。
日本と文化が違うのは当たり前。日本文化を軸にして考えない。自分も家族の一員として相手の家のルールに従う。部屋に引きこもらずにホストファミリーと積極的にコミュニケーションをとる。わからないことや気になることはまあいっかではなくちゃんと伝える。子供がいるならその子とたくさん遊ぶ。
あまりホストファミリーの人に気使い過ぎず、過ごすこと。自分が思っている以上に向こうはあまり気にしていないことが多い。

パソコンは持参しましたか	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい (13 人)	日本から SIM カードを持参 (8 人)	ワイヤレスで可能 (10 人)	はい(4 人)
	日本の携帯をそのまま持参 (3 人)		
	留学先で SIM カードを購入 (1 人)	LAN ケーブルで可能 (2 人)	いいえ (9 人)
	その他 (1 人)		

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
現地で出来た友達と食事や課題をしたり、大学のアクティビティに参加したりしました。	舞妓と言う抹茶カフェや、アヒポキというハワイアンボール屋さんによく行っていました。
積極的に大学のアクティビティに参加していました。プロスポーツの試合を見に行ったり、グランドキャニオンに行ったり、謎解きゲームをしたり様々な活動ができました。	大学のなかにジムがあり、バスケットボールやウエイトトレーニングをして健康な生活をできるように心がけていました。また大学のフードコートのような所にソファがたくさんあり、授業終わりに課題を終わらせて帰宅していました。
街を散策、大学のジム、観光スポットへ行く、Japanese church、大学からバスや野球を見に行く、旅行	大学のジム、ウォルマート、ターゲット
学校のイベント	MU という食堂を課題をやったり会話をしたりする時によく使った。舞妓という抹茶のお店に友達と行くことが多かった。
基本的には留学生プログラムにあるイベントなどに参加する事が多く、そこでできた友達と遊びに行く事が多かった。	学校内ではカフェによく友達と授業の課題などをしていました。
お昼の時間に留学生に向けてのイベントがほぼ毎日あったのでよく参加していました。月に1度くらいみんなでバスケットボール観戦や野球観戦、グランドキャニオンに行くイベントがありました。	大学のカフェテリアや食堂、スターバックス、図書館をよく利用していました。放課後はジムに行って少し体を動かしていました。
ジムで筋トレをしたり、1人で映画を見に行ったりした。仲間とショッピングモールへ行ったり、仲間のホームステイ先へお邪魔したりもした。	学内には、フードコートの他に、ジムがあった。ジムでは筋トレだけでなく、バスケットボールやバレーボールができた。
大学主催のプログラムやイベントによく行っていました。交流会やパーティー、最新のプログラミング体験、また大学主催の祭りも行ったりしました。	学内のジムはよく使っていました。ここではバスケットボール、卓球、筋トレ、バドミントンが出来るととてもいい場所でした。また学校付近のスーパーによく行っていました。オーガニックの食品が多くよく買いに行ったりしました。
Global Hangout という現地の学生と交流できるイベントが毎週行われています。また、月に1~2回留学生向けのイベントとして、バスケットボール観戦、野球観戦、VR体験、学内フェスティバル、グランドキャニオン観光などのアメリカ文化を感じられるイベントも模様されます。さらに、これは大学主	留学の後半で毎週台湾人の友達と日本食レストラン「マツリ」を食べに行きました。アメリカでは日本食を食べられる機会が少ないため、そこが日本食のオアシスになっていました。学内にもサブウェイやバーガーキング、Jumba というスムージー屋さんがあり充実していました。(寿司屋もありまし

<p>催ではありませんが、ボランティアとして現地の小学校に訪問し、先生として日本文化を小学生に教えるボランティアに参加しました。このようなボランティアがある場合は参加をお勧めします。</p>	<p>たが後期はずっとしていました。また、学内にジムがあり、学割で 25 ドルで利用できます。施設内には卓球台、バスケットコート、バドミントンコートがあり友達とよく利用していました。</p>
<p>学校がある平日の放課後は大学に残って、課題などをしていました。基本学校が開催したイベントには積極的に参加したものとすごく思う。</p>	<p>アメリカに滞在していた時、時にものすごくアジア料理が恋しくなってしまうと、その近くにあるアジアマーケットによく通っていた。学校内ではよく図書館を利用して勉強していた。あそこの図書館はものすごく広かった。</p>
<p>課題をやったり、大学のカフェテリアでご飯を食べたりした。また、毎週大学がイベントを計画してくれているためそれに参加した。毎週木曜日のカラオケが楽しかった。The Japanese Friendship Garden of Phoenix という主に地元の人たちに日本の文化を知ってもらい交流を図ることを目的としたボランティア団体がありそれに参加した。私は地元の小学校に行って小学生に日本の文化を伝えるボランティア活動をした。</p>	<p>学校のカフェテリアは広くて最高でした。気づいたら夜になっていたなんてこともありました。学校外では、アヒボキボウルというポキ丼のお店と、舞妓という抹茶ソフトクリームが食べられるカフェがおすすめです。</p>
<p>毎週火曜日は conversation cafe という自由参加型 activity があり、お菓子などを好みに食べられ、他の留学生と話すことができる。私はいったことがないため、あまりよくわかっていないが関西外大がいいはこの activity が必修クラスだった。毎週水曜日は Sports の activity があり、バドミントン、バレーなどをしていました。毎週木曜日にはフリーフードがもらえた。他にもカラオケや、スマブラをよくしていた。フリーフードはピザ、パンダ、ベーグル、サンドウィッチのローテーションだった。その他にも NBA やメジャー野球の観戦やグランドキャニオンなどのたくさんの activity があつた。</p>	<p>MU に行けば誰かしら知っている人がいる。açaí bowl をよく食べていた。時間があるときはジムにも良く行っていた。あと放課後は Dutch Bros。</p>

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
英語と中国語の勉強
単語の見直し、英語のインタビュー動画の視聴
現地や留学先大学の情報調達や金銭面の準備。
荷物、携帯の契約変更、カードの手配など
アメリカの生活スタイルや日本とは治安が悪いので気をつけるべき事や授業についていけるようになる為単語学習やリスニングをよくしていました。
英文法や英単語をもう一度復習したり、なるべく留学前の大学の授業はプレゼンテーションの授業やみんなでディスカッションをする授業を積極的に取るようにしていました。
荷物の準備、ワクチン接種、国際交流部に出す書類作成など。
留学前はやはりホームステイの不安があったので、最初に仲を深めるということでお土産選びには時間をかけました。またよく使われる英会話などの勉強もしました。
オンライン英会話を留学が始まる 3~4 か月前から利用し、英語力を鍛えました。また、会話専門の参考書や文法書で復習をして現地の生活に備えました。これらのことが私が留学を成功させた大きな要因だと感じます。また、ホストファミリーに日本食を食べてもらいたかったので焼きそばを作る練習をしました。アリゾナにはアジア人向けスーパーがいくつかあるので材料は調達できます。
日常生活で使われる英語フレーズを少しでも使えたいために覚えていた。
耳を慣らすため podcast を聴いたり、英語のユーチューブを見たりした。ホストファミリーへのプレゼントも用意した。

このアンケートを読む。

留学前にしておけばよかったと思う準備

単語の勉強

英会話教室などに通ってあればよかったと思いました。アメリカの文化や観光地など調べて行けばよかったと思いました。

単語を増やしておけばもっと良かったかもしれない。スピーキングは留学中に上達するのであまり心配しなくていいが、単語をもっと知っていればスピーキングもより伸びると思う。

大学の授業でスピーキングをする機会はありましたが、もう少し英会話や日常会話に力を入れて準備しておけばよかったと思いました。

少しでも生活リズムを正しておけば良かったです。留学して学校に行き始めると毎朝早いので日本のいるうちから早起きしてないと少ししんどいと感じます。日本の手料理を作れるようにしとけば良かったです。ホストファミリーに作ってあげることができなかったからです。

英語力の準備はしていたけれど、ネイティブおリスニングには圧倒されました。そのため、留学前にネイティブスピーカーのスピードを知っておくことをお勧めします。

事前に行く国のことについて知るべきだったと思う。

日本の文化を紹介できるように事前にもっと準備すべきだった。

英単語と英会話の勉強をもっとするべきだった。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

ドライヤー、衣服用アイロン

サングラス、日焼け止め、化粧水

カーペットクリーナー。喜ばれたものは抹茶味のお菓子や漢字が書いた湯飲みなど。

シャンプーやリンスなど、自分のケアに関するものは日本から持っていった方がいいと感じた。日本の文化や景色の写真を携帯に入れておくといいと思う。

日本食です。やはりアメリカのご飯は日本人にとってすごく重い為体が気持ち悪くなる事がありそのたびに日本から持っていったご飯やみそ汁がわたしにとってとても役に立ちました。

合う合わないがあるので薬や化粧水は自分で多めに持って行ってよかったと思いました。日本のお菓子や陶器のお土産は喜ばれました。

ホストマザーへのお土産につげ櫛をあげると喜ばれた。

日本のお菓子は喜ばれました。サングラスや日焼け止めなど日差し予防の用品は持って行って良かったと感じます。

お土産は何をもっていても喜ばれると思いますが日本らしい小物や置物は特に喜ばれます。日本食として焼きそばをふるまったときはとても喜んでいました。役に立ったものは会話向けの参考書です。日常会話が載っているものはインプットとアウトプットがすぐにできる環境のためより活きました。あとは滋養強壮剤は変化のは上げしい環境の中で支えになりました。風邪薬も同様です。

日本のお菓子、インスタント食品

基本的に日本から持って行ったものすべて役に立ったと思う。

日本のお菓子(友達作りに最適)、自分に合ったスキンケア用品、モバイル充電器、爪切り

スキンケア。キットカットの抹茶味。

日本から持っていく必要のなかったもの

参考書

上着は1、2着で十分でした。

日本食。必要以上の衣類。
食べ物
特にはないですが、洋服はそれほど多くは持っていく必要なかったと思いました。
ドライヤー
マスクはやはり必要なかったです。全く付けることなく持って帰りました。また柔軟剤は必要なかったです。
タオル類はホストファミリーが用意してくれたためそこまで必要ではありませんでした。
ハンガー役に立たなかった。
日本食…心配してたくさん持って行ったがそこまでいらなかった。ホストファミリーとご飯は食べるし外食もするし使う機会がなく、余ってしまった。特にインスタントのお味噌汁はいらぬ。・参考書…見ない
大量の服。

日本から持参すればよかったと思ったもの	
薬(アレルギーや腹痛など市販の薬)	
半ズボン、水着、スポーツウェア	
気温が上下した時の夏用の服と冬用の予備の服。	
ホストファミリーに日本食を作りたい場合はその材料などを少し持っていくべきだと思います。実際に私は日本食を作りましたが、アメリカにその材料を一つも持って行ってなかったのがアジアマーケットで買いました。日本と比べるととても高かったのでお勧めしません。	
綿棒、ウェットティッシュ、消毒液	
シャンプーやコンディショナーなどお風呂の用品です。アメリカだとやはり高価でまた日本のシャンプーなどとは違い固めで髪への影響が違うなと感じたからです。	
私の場合特にありませんでした。	
ネクストステージという英語の参考書。	
水着(アメリカは女性のだと one piece が多め、サイズも大きめ)、パーティー用ドレス	
のど飴。	

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくらぐらい準備しましたか。
クレジットカード2枚、デビットカード2枚。現金。	あまりカードに関してはわからないが、不自由なく過ごせた。現金は行く前に10万円換金して行ったが、割り勘やフリーマーケットなど使う機会が多く、向こうで7万ほど追加で下ろした。
クレジットカード、デビットカード、プリペイドカード、現金	クレジットカード上限30万、現金8万
現金、クレジットカード	クレジットカード上限10万、現金30万
クレジットカードと現金。	クレジットカード上限20万、現金5万。
VISAのクレジットカード1枚、プリペイドカード1枚、現金日本円で5万円分	クレジットカード(1ヶ月10万円の上限)、プリペイドカード(50万円)、現金5万円
現地ではほとんど現金を使う事がなかった為デビットカードが一般的でしたが、時々友達と食料をシェアした時の割り勘で現金を使う事があった。	デビットカードで70万円と現金では10万円。
クレジットカード2枚と現金5万くらいを用意しました。ビザカードとマスター	クレジットカードそれぞれ上限15万です。

カードです。	
クレジットカード2枚、キャッシュカード1枚、現金505ドルを用意した。	クレジットカードの上限が10万円、20万円のものを一枚ずつ持参した。海外で簡単に使えるキャッシュカードも持参した。
クレジットカードと現金を準備しました。	クレジットカード40万ほどで現金は8万ほど準備しました。
クレジット2枚、デビットカード1枚、現金10万円分	口座60万円、クレジット上限20万円(10万は足りないです)、現金を10万円持っていきましたが5万円でも多いくらいでした。(現金を持っていく場合に注意してほしいのがアメリカでは100ドルを両替する場所がほとんどないということです。そのためあらかじめ20ドルを5枚などに崩して持っていくことを強くお勧めします。
クレジットカードと多少の現金	クレジットカード上限50万、現金8万
現金とクレジットカード。	根のために現金20万を用意した。クレジットは毎月上限10万だった。
クレジットカード3枚、キャッシュパスポート1枚、現金	クレジットカード上限10万~20万、キャッシュパスポート25万、現金10万
クレジットカード2枚、デビットカード2枚。現金。	あまりカードに関してはわからないが、不自由なく過ごせた。現金は行く前に10万円換金して行ったが、割り勘やフリーマーケットなど使う機会が多く、向こうで7万ほど追加で下ろした。

現地で支払った住居費と食費を教えてください。	テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。
詳しくわからないが、外食をよくしていたためそれなりの額はいつていると思う。	最初の semester の時は used の本や教科書をレンタルできたことから3.5万円と他の人より安く収まった。summer semester は友達が全部貸してくれたため新しく買う必要がなかった。
40~50万程度	テキスト代3、4万円、通学費0円
食費約10万	テキスト代約3万円、通学費2万円
住居費ゼロ、食費(ファミリーと食わず、自分で支払った金額)10万円以下	通学費150ドル以上、テキスト代300ドルほど
20万円	通学費は無料バスが出ていたためかかっておらず、テキスト代は総額5~6万程。
詳しくはわかりませんが、50万から60万くらいだと思います。	テキスト代は全体で4万くらいです。クラスによって買うテキストが違うのでみんな値段が違っていました。通学費は2万くらいです。バスの定期を買いました。
住居費は、現地でではなく留学前に親が支払った。食費は、昼食だけで一日5~10ドルほどかかった。	テキストは4冊ほど買って、100ドルを超えた。
食費は外食や買い物で合計25万ほどです。	通学費は無料で、テキスト代は合計3万ほどです。
月1000ドル(食費等)、遊興費2000ドル	テキスト代トータル1000ドル、バスの定期代4か月で150ドル
1ヶ月計10~12万	200ドル
現地で住居費は払っていない。(滞在する前にすでに支払い済み)食費は基本的毎日お昼自分で作って持って行った。20-30ドルくらい。	テキスト代1学期で日本円に換算すると約3万かった。通学は2カ月のバス・電車乗り放題を買って75ドルだった。
食費:月5万ほど	テキスト代:約6万円、通学費はなし(無料バス使用)
詳しくわからないが、外食をよくしていたためそれなりの額はいつていると思う。	最初の semester の時は used の本や教科書をレンタルできたことから3.5万円と他の人より安く収まった。summer semester は友達が全部貸してくれたため新しく買う必要がなかった。

旅行(大学主催以外)をした場合の期間、費用、行先、手配方法など

ロサンゼルス旅行、10万
ロサンゼルスに飛行機で二泊三日アナハイム。ディズニーもいったので7万くらいはかかった
ロサンゼルス(4日間、約8万)、グランドキャニオン・アンテロープキャニオン・ホーシューベン(2日間、約3万)、ニューヨーク(4日間、約10万、飛行機、友達の寮)
10月にロサンゼルスへ4日間行きました。費用は約10万円で、ハリウッドやディズニーランドに行きました。移動手段は飛行機とUberでした。
LAに3泊4日の旅行は1ヶ月前ほどから予約などの準備を始めました。交通は飛行機とタクシーを使いました。ディズニーやユニバーサルスタジオに行ったこともあり、予算は高めで15万円ほどでした。セドナに1泊2日の旅行はほぼ弾丸で、予定の5日前ほどに行くことを決定して計画を立てました。宿泊はホテルではなくエアビで、テーマパークに行ったわけではなく、どちらかというと自然観光だったのでお金はそこまでかからなかったです。
LAへ旅行した際はExpediaを使いホテルと航空券の手配をして、現地ではタクシー移動をしていました。費用は3泊4日、日本円10万円強でした。
三泊四日で飛行機を使ってロサンゼルスに行き、費用は約10万円ほどでした。
ニューヨーク旅行

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

50万円は達していないと思いたい。
お土産や買い物10万、SIMカード月1万
約40万
60万以上
旅行費トータルで40万くらいでホテル代や飛行機代、食費やタクシー代がほとんどでした。
旅行や買い物、お土産で40万くらいです。
タクシー代に一回7ドル、高くて20ドル、旅行の飛行機代に100ドル以上、宿泊代は2泊で一人80ドルほどだった。
10万ほどです。
旅費トータル約1000ドル、遊園地、ナイトクラブ、外食等の遊び代1000ドル、通信費40ギガ月50ドル
買うものによる。日本と何ら変わらない生活をしているのであれば、円安の影響で安くはないが破産はしない。
40万くらいかかった。アメリカは基本的に物価が高い。
ロサンゼルス旅行:10万
50万円は達していないと思いたい。

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析

日常会話が留学前より出来るようになった
留学前の語学力はライティング、リーディングには多少の自信がありましたが、話したり聞いたりする能力を留学を通じて伸ばすことができたと思います。クラスメイトとの普段の会話や外食した時や交通機関を利用するときなど自分自身で全てのことをすることで自然と伸びていったと感じています。
行く前に比べて圧倒的に英語力は伸びたと思う。特にリスニング力は伸びた。日本とは授業の仕方が違う買ったが、アメリカの授業形態のほうが伸びると

思った。
speaking、listening スキルが特に上がったと感じる。最後の4回の speaking テストは4回ともクラス最高得点をとれた。毎日ホストファミリーとたくさん話したり、1日2〜3時間ほどテレビを見たのがよかった。
留学を通じて確実に英語力、コミュニケーション能力の向上を実感しました。留学に行く前までは文法や単語など読解力の知識を身に付ける事が多かったが、現地ではとりあえずコミュニケーションをとる事が重要視されており、完璧な英語を話せなくてもどのように伝えられるか、伝えたい言葉がわからなくても違う単語でどこまで伝わるのか、そして理解できるのか、留学を通して英語力はもちろんの事、他国の人とのコミュニケーションの取り方を学ぶ事ができました。
語学力やコミュニケーション能力の上達を感じたのは授業中クラスメイトと話したりホストファミリーと休暇を過ごしたりしたときでした。日常会話やプレゼンテーション能力が上がったと思います。そして、バスの乗客やお店のスタッフと話した時により実感しました。
アリゾナ州立大学では、他の国から来た人たちと出会い、仲良くなることができました。もう少し、現地に住んでいる人たちと知り合えたのではないかと思います。
今回の留学を経て語学力はやはり上がったと感じます。自分の言いたいことがしっかり英語で言えるようになっていたり、リスニング力が上がって英語で何を言っているかを理解できるようになったと感じます。コミュニケーション能力も上がっていて知らない人の会話でも話題がすぐ出てくるようになったり会話がすぐに終わったりしなくなりました。
留学をする前と比べて語学力がついたことはもちろんのこと英語を話すことに迷いがなくなり自然とコミュニケーションが取れるようになったことです。
私は留学前に外大へ留学にきていた留学生たちとよく一緒にいたため、ある程度は喋ることができる状態で今回の留学に挑みました。留学前の経験が功をなして会話は難なく進められましたが、それとは別に、「生きてる英語」にも触れました。教科書からではわからない、ネイティブの英語を習得することができました。
初めてリスニング・スピーキングのクラスで授業に参加した時、なかなか自分に意見をしっかりとと言えることができ、また、他の人よりもリスニング力も高くなかったため、本当に大変だった。しかし、毎日英語に触れていたから、後から自分の語学力が伸びていることに気づいた。リスニング・スピーキングのクラスもスムーズに受けることもできた。
留学前に比べリスニング力が伸びたと思う。自分から発言する力も養うことができた。
留学当初は、自分の言いたいことをうまく伝えられず、相手の言っていることもあまり理解できずホストファミリーに迷惑をかけることも多かったが、学校が始まり友達が増えてからはコミュニケーション能力が向上した。speaking 能力はずば抜けて上がった気はしないけど Listening 能力は確実に上がったと思う。

留学前の目標とその達成度
予習復習、授業での発言を心掛け、実行できた。
留学にあたっての目標は海外の友人をたくさん作ることや、食事や宗教普段の生活など、日本では体験できない考えや文化を体験することでした。両者とも目標を達成できたと思います。特にサウジアラビア断食や、宗教ルールなどに驚きました。
留学前コミュニケーション能力をあげるためリスニング・スピーキング力をあげることを目標としていましたが留学した結果達成できたと思っています。
自分が思っていた以上に充実した留学生活を送れた。留学前は speaking が苦手だったが、今は speaking が好きになって、話すのが楽しいと感じる。留学で得られたことは大きいと感じる。
留学前はとりあえず英語を使って会話がスムーズに話せるようになる事が目標でした。が、積極的に話そうとしていなかった程度である程度の単語力があればある程度の会話をする事ができる事を留学を通じてわかったのでこれらは会話の幅を広げる為単語力の向上に取り組み社会にどのように貢献できるかを意識しようと思いました。
留学前の目標は現地のアメリカ人やホストファミリーとの会話を楽しんだり、なかなか勉強する機会のない日常会話を主に取り組むことです。実際授業の内容も勉強になりましたが、ホストファミリーと過ごす時間やクラスメイトの留学生と会話する時間がとても有意義になり達成感もありました。
留学前の目標は、外国人と積極的に話し、日本人との違いをざっくり知ることだった。もう少し知りたかったが、満足のいく達成度だった。スピーキングテストでは、もう少しスムーズに英語を話すように先生からアドバイスをいただいた。
留学前の目標は語学力の向上はもちろん、英語を話すことのためらいをなくすということを目指していました。そして留学を終えて英語を話すことの

ためらいは無くなり間違えてもいいという気持ちで英語を話すことができるようになりました。語学力を伸ばすには話すことが大事だと思っているので今回の成果はかなり良かったと思います。

留学前にネイティブと自然に会話できるようになることを目標にしていましたが、おおむね達成できたと思います。

自分が一体どれほど英語を現地で喋られるのかを確かめるのが今回の留学の目標でした。結果は自分が思っていたよりもよく、とても満足しています。結果的に年齢も国籍も異なる友人が多くでき、さらなる英語の上達と国際交流を叶えることができました。

留学前は自分が苦手である分野のリスニングやスピーキング力を高めたいという目標でアメリカ留学に行った。留学後の自分は留学する前の自分に比べたらやはり上がっていることに気づいた。まだまだ完璧ではないだが、これからも頑張りたい。

目標...友達たくさん作る・ホストファミリーと仲良しになる。達成度...自分から話しかけることをルールにしたら友達もたくさんできた・ホストシスターと毎晩たくさん遊んでいたらベストシスターと言われた。

留学前はとりあえずコミュニケーションをとることが目標だったが、それなりにできるようになったと思う。

留学を通しての成長ポイント

多文化理解力

留学を通じて私は、自分の意見をはっきり伝えることができるようになったと思います。日本では周りの人に合わせたり、反対意見を出すことに抵抗がありますが、アメリカでたくさんの人と触れ合うことで、芯をもった人が多く個性を認め合う人間性を感じ、自分自身も受け入れるようになったり、自分の個性を出せるようになったと感じています。

留学を通じて語学力の向上はもちろん異なる文化や環境に適応する力、国際的な視野や対人関係のスキル向上、異なる価値観を理解し受け入れる力自己主張の大切さや自己管理能力などの力が身についたと考える。特に、アメリカは日本と違い気持ちを察するという文化ではないため生活する上で自己主張の大切さが身に染みて実感しました。

語学力はもちろん、失敗を恐れずに色々な人に話しかけることができるようになった。周りの目を気にせずに行動できるようになった。自分の意見を言う大切さを学んだ。

意思表示をより強くできるようになりました。アメリカでは自分の意見をしっかりと相手に伝える事が基本で、今まででは相手の意見を理解して取り入れる事を意識していましたが自分の意見と相手の意見を口論しより良い結果を求められるようになりました。

英語でのコミュニケーション能力やエッセイなどを書く英作文の力がついたと思います。

日本で英語を勉強していても、日本にいたら使わなくても生活ができる。だからいざ英語を使おうと思っても、躊躇してしまっていた。けれどアメリカにいたら、当然英語を話さないと生活できないから、躊躇せず英語を話すことができた。

成長したポイントは英語を話すことのためらいがなくなったことです。留学に行く前はミスをするのを怖がって英語を話すこと自体控えてしまっていたが、今では英語を話すことが楽しく感じるようになりました。またコミュニケーション能力が上がったと感じていて日本で困っている外国人がいたら尋ねることができるくらい成長したと思います。

語学力はもちろんのことほかの留学生と日本人以上に過ごすことで様々な価値観を知り、自分の伝えたいことをわかりやすく伝えようとする能力や自分の意見をはっきり言う自身がついたと思います。

今回の留学で、私は自分の課題を見つけ出し改善するという力が身につきました。英語を喋るにあたり、毎日のアップデートが欠かせませんでした。昨日分からなかった単語は何か、なぜ私はあの時の会話をうまく理解できなかったのか、またそれらの課題を解決するためにどんな知識を入れればいいのかをつねに考えていました。

海外の人たちは他人の目線を気にするのではなく、自分がこれがいいだと思ったらそれでいいだという考え方がほとんどだった。その中に入った私も多少他人の目線を気にするじゃなく、自分らしさを大切にできるようになった。

人の意見を踏まえたうえで自分の意見を相手に伝える力を養うことができた。

たくさんの人がいる中で今までの常識だったり普通を相手に押し付けるのではなく相手の育った環境や文化を理解することも大事だということを学んだ。また yes ばかりをいうのではなく、自分の意見を持ち相手に伝えることも大事だと思った。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学前→留学に向けて一生懸命勉強した。留学中→目の前の課題や友達とのコミュニケーションに毎日必死だった。留学後→将来なりたい職業を見つけ、中国語圏の友達ができたため、英語だけでなく中国語も更に頑張りたいと思うようになった。

留学前は学外で英語を学ぶことがありませんでしたが、留学で自分の学んできた英語やフレーズが伝わることに喜びを感じたり、英語で意見交換をすることに楽しさを感じ、現在では、英語カフェや、英会話教室に通うことを検討しています。

留学前はただ英語が好き、様々な国の人とコミュニケーションを取りたいという気持ちで学習に取り組んでいた。留学中は実践的な英語の必要性を感じました。現地でコミュニケーションをとりそれが伝わることで自信につながりとても意欲が高まりました。留学後は留学で身につけた言語スキルを維持そして向上させるための継続しようという意欲が高くなりました。

留学前は不安が大きかった。留学中、初めは自分の能力の無さに落ち込んだりしたが、話せるようになりたいという気持ちが強たくさん英語に触れた。2ヶ月ほどで上達していると感じ、モチベーションとなった。留学後、英語をもっと話せるようになるために英語の勉強に取り組んでいる。

留学後の語学学習に対してモチベーションはもっと学びたい、そして将来では英語に携わる仕事に就きたいと思えるようになりました。一つの理由として現地で他国の友達と英語を通じて会話をし、遊びに行ったりもし英語を学んでいなかったらこのような素敵な友達に会うことはなかったのだろうと思うとわたしにとって英語力を向上することは大切だと気付いたからです。

留学前は漠然としていて実際何をしたら良いかわからず文法や英単語を見て勉強していたのでモチベーションはそんなに高くなかったです。また留学中はもっと多くの人と話せるようになりたいと思い英会話へのモチベーションが高まりました。留学後はそのまま学んだことを継続したり TOEIC などの試験勉強に励むようになりました。

先生もクラスメイトも、授業中はみんな英語を話すので不安だったが、思いのほか授業内容を理解できた。おかげで、日本に帰ってからイングリッシュカフェなどに通い、英語を活用し続けようと思った。

留学前はアメリカで過ごすという不安があったため少しでも困ることがないように最低限の必要になるであろう英会話などを学んで留学を頑張ろうというモチベーションで取り組み、留学中は他の国の人と積極的に話しかけたりホストファミリーと話したり英語を使うことを意識していました。留学後は留学の経験活かして英語を使う機会があるバイト始めたり、リスニング力を低下させないように洋画などで英語を聞くことを欠かさず TOEIC などのテストに向けて勉強するぞというモチベーションで行っています。

様々な国の人たちとコミュニケーションをとることで留学後には英語以外の言葉も話せるようになりたいと強く思うようになりたいと感じるようになりました。また、友達になった留学生とまた会って彼らの国の言語で会話できたらいいなと思っています。

留学前は特に緊張もせずただワクワクしていました。留学中、前半は他の留学生より比較的会話ができたのでストレスもなく過ごしていましたが、後半は自分のクラスレベルが上がるにつれて勉強する量が増えていき疲れることが増えました。留学後は、いい結果を出せたのは最初から実力がある時点まで達していたからだと思い、いつかまたチャレンジする時のためにさらなる発展をしようという気持ちで勉強をしています。

留学行く前は、どうしてもリスニングの勉強方法がどのようにすれば良いのかがよく分からなかったが、留学中の授業を受けて、そのようにすれば良いのだと感じ、効果もあることに気づいた。留学後も留学中の授業のような勉強方法でリスニング力を上げようと考えている。

特に変化はないが、やはり留学中が一番モチベーションがあったと思う。

留学前はただ話せることだけが目標だったが、留学を通していろんな人と出会う中で、将来のことを考えた時日本だけではないのだという考えを持つことができた。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

最後のテスト週間

留学中バス停で頻繁にホームレスの人や、バスを待っている人に話しかけられるのですが、その人たちに英語で会話をするとき、とても苦労したり、力を振り絞りました。しかしこのような体験が語学力を伸ばすチャンスでもありました。

留学してすぐの頃の学校帰りまだバスの乗り方や乗り換え場所があやふやな時、携帯の充電がなくなり校内やバス停近くにいる人たちに話しかけ家の大

体の住所や最寄りのバス停を伝え帰り方を教えてもらった時です。この時が一番勇気を出して多くの人に話しかけたし、伝えようと必死になりました。
学校の先生や店の店員さんではなく、一般の現地の人と話す時。
プレゼンテーションです。何故ならば日本ではプレゼンテーションを日本人の前で英語でする機会は多々ありますが、いろんなアクセント英語がある中でどのように伝わるか、理解しやすいかと不安がいっぱいでしたが留学生の友達のアドバイスや教えのおかげで全力を振り切ったプレゼンテーションをする事ができた。
授業内で一人でプレゼンテーションをしたときです。スクリプトを作り原稿を考え覚え、発表練習をするのが大変でした。発音や意味を理解しながら発表するのを心掛けていました。
ルームメイトの友だちが迷子になって探した時。ルームメイトの携帯が低速になり、おまけにバッテリーが切れて連絡がつかなかった。けれど、家の周りを探していると、見つかった。
100%力を振り絞った瞬間は初めて留学先の大学に行き他の国の人と初交流をする時です。最初は英語を話す不安な気持ちがある中で仲を深めようとしたことはかなり力を振り絞った瞬間だと思います。
一つはボランティアで参加した小学校で自分が持つ英語力をフルで使い小学生の質問に答え、日本文化の説明をしたこと、一つは旅行での宿泊施設の電話での予約、病院の利用、カスタマーサポートでの対応など正確に英語を使わなければいけない場面、そして学期の最後で徹夜で練習して発表したスピーチです。
「100%力を振り絞った瞬間」というのはなく、毎日全力で自分の持っているすべての知識を使い頭をフル回転させていました。毎日同じような会話でも違う言い回しを使ったり、自分から会話のタネを撒いたり、どうにかして昨日より優れた自分であり続けようと努力しました。
学期の最後の2週間はスピーキングテストがあり、そのテストは先生が出す予定の質問から1~2出してくれて、その回答を自分たち英語で答える。
テスト、思いがけないハプニングに遭遇して対処するとき
12の時の Speaking class の test と final exam。その場で自分の意見を伝えることが苦手だった私にとって、とても難しかった。

留学先大学の良かった点
留学生同士が交流出来るアクティビティが毎週あった点。
私のホームステイ先から無料のバスが出ている点は交通費の節約になり、とてもよかったです。また、学内にジムやプール、体育館など運動ができる施設があり、とても充実していました。
施設がとても充実していて綺麗。
休みの日の festival や、NBA 観戦など、色々な行事が用意されており、貴重な経験ができたことがよかった。
イベント事が多く異文化に触れ合う事ができた事
大きなカフェテリアや食堂、自習スペースがあったので、クラスメイトの留学生と話す機会があったり課題をする時間を作ることができました。
アリゾナ州立大学では、いろんな国から来た人たちと出会うことができたのでよかった。留学へ行くと、差別を受けると思っていたが、外国人に対する理解がある人たちばかりだったので、差別を受けなくて済んだ。
良かったところはやはりたくさんの方から留学しにきてる人がいるということです。他の国の文化や習慣などを知れるという貴重な経験ができるためです。
学生に配慮した施設が多くありとても良い大学でした。
とても施設が充実しており、プールやジム、レストランや綺麗な講堂があるのがとても過ごしやすく快適でした。学校内も綺麗に清掃されており、毎日学校で時間を過ごすのが楽しかったです。
様々の国から来た生徒と共に授業をうけたり、イベントに参加したりすることによって、彼らの文化にあふれることができた。また、英語を勉強しているのは私たちと同年代の方だけではなく、それぞれの年齢層の方がいるため、新たな価値観を見つけたという点。
語学学校に色々な国籍の方がいたこと・色々なイベントを企画してくれたこと・授業が面白かったこと
たくさんの人種がいるからこそ、差別がなく、みんな温厚だった。また学校内の activity が多いところが ASU のいいところだと思う。